

公益社団法人 東京都臨床検査技師会 平成30年度 第8回 理事会議事録

日時：平成30年12月19日（水）19時00分～21時07分

場所：都臨技事務所

議長：原田

書記：三木

出席：原田、杉岡、小山、中村、松村、三橋、山方、米山、浄土、宮崎、工藤、櫻井、竹澤、中尾、星野、宮下、三木、
立花監事、安部監事、遠藤監事、役員選出委員（石山）

計 21名

欠席：鈴木、相馬

1. 議事録確認

- ・平成30年度 第7回理事会議事録
- ・2018年度 第8回執行理事会議事録

2. 理事行動報告

11月22日	(木)	2018年度 第2回 事業に関する懇話会	原田、杉岡、小山、中村、松村、三橋、山方、米山、浄土、宮崎、 竹澤、三木
11月23日	(金)	初級・職能開発講習会	原田、中村、工藤、星野、鈴木、宮崎
11月26日	(月)	学術部会	小山、山方、中尾、星野、杉岡、三橋
11月29日	(木)	データ標準化委員会	相馬、櫻井
12月1日	(土)	いたばし健康まつり	相馬
12月2日	(日)	第14回 東京都医学検査学会	原田、杉岡、小山、中村、松村、三橋、山方、米山、浄土、宮崎、 工藤、櫻井、鈴木、相馬、竹澤、中尾、星野、宮下、三木
12月4日	(火)	フォーラム委員会	三木
12月5日	(水)	執行理事会	原田、杉岡、小山、中村、松村、三橋、山方、米山、浄土、宮崎
12月6日	(木)	役員選出委員会	米山、三木
12月7日	(金)	会計部会	浄土、宮下、工藤
12月10日	(月)	表彰選考委員会	中村、竹澤
12月16日	(日)	都民公開講座	工藤、星野、宮下、宮崎

3. 報告事項

1) 学術部

(1) 学術部会

- ・事業執行状況は順調である。
- ・表彰選考委員会より、各賞候補者の表彰選考依頼があった。
- ・来年度の事業計画と予算案が各研究班から提出された。
- ・第14回東京都医学検査学会にて、公衆衛生検査研究班、生理検査研究班、微生物検査研究班から受付用PCを借用した。
- ・輸血検査研究班より、「精度管理の実施に関する調査協力」のアンケート実施を研修会にて行いたいと申し出があった。
- ・生理検査研究班より、帝京大学の施設使用許可申請書の提出依頼がきている。理事会に報告し、使用許可書を提出して頂くこととする。
- ・病理細胞診検査研究班研修会参加者より、参加登録がされていないとHPに問い合わせがあった。当該研究班にて調査したところ、都臨技会員でなかった為に会員確認ができず登録されていないことが判明した。今後は都臨技会員でない場合、

参加登録用パスワードを渡してご本人に登録して頂くこととする。

(2) 編集委員会

- ・会議開催なし。
- ・会誌 12 月号の入稿遅れにより発行が遅れ、都臨技 HP を通じて遅延の案内を掲載した。会誌は 12 月 17 日に発送された。
- ・メディカルオンラインに 6 月号、9 月号を送った。3 月号が No.1 であるため、3 月号も掲載することとした。
- ・郵便料金の値上がりの為、来年度の会誌発送見積もり金額が上昇する。
- ・来年度の表紙のデザイン案ができあがり、黄緑色をイメージカラーとしデザイン等は、次回の委員会で決定する。

(3) データ標準化委員会

- ・精度管理調査の発送に関して今年度は大きな問題はなかったが、施設によっては届いた時に試料が室温になっている施設があった。原因として発送時に保冷剤を 5 個入れたが発送容器の大きさに対して中に入れる保冷剤が少なかった可能性もあるが、大量の保冷剤を短期間で凍結した為凍結状態にムラが生じ融解してしまった可能性がある。次年度に向けて凍結の仕方と保冷剤の量を検討することとする。
- ・今年度の精度管理調査の進捗状況は、各施設からの報告データに関して処理しているところである。
- ・2019 年 2 月 21 日（木）に精度管理調査の報告会を日本医科大学橋桜会館にて開催予定。
- ・データ処理の担当委員の交替がある。

(4) 生涯教育制度実行委員会

生涯教育対象行事登録者数（11 月）

●公益事業・その他

	（行事名）	（開催日）	（点数）	（登録者数）
1.	（チーム医療） 多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会	11 月 03 日（土） 11 月 04 日（日）	基礎 30	21 名
2.	（公益事業） 全国「検査と健康展」中央会場	11 月 11 日（日）	基礎 20	67 名
3.	（チーム医療） 平成 30 年度 初級・職能開発講習会	11 月 23 日（金）	基礎 20	48 名

●学術研究班研修会

	（行事名）	（開催日）	（点数）	（登録者数）
1.	（情報） 第 1 回情報システム研究班研修会 「みんなどうしてる？」 『5. 1 教育』にスポットをあてる！ －ISO15189 認定施設の取り組みについて－	11 月 02 日（金）	基礎 20	37 名
2.	（免疫血清） 第 4 回免疫血清検査研究班研修会 「免疫検査の精度保証について －免疫検査と臨床化学検査の相違点を中心に－	11 月 07 日（水）	基礎 20	52 名
3.	（血液） 第 6 回血液検査研究班研修会 「今から使える！末梢血液データ解釈のポイント」	11 月 15 日（木）	専門 20	127 名
4.	（微生物） 第 7 回微生物検査研究班研修会 「これだけは知っておきたい CLSI の基本から最新情報」	11 月 16 日（金）	専門 20	86 名
5.	（臨床化学） 第 4 回臨床化学検査研究班研修会 「選択クイズと RCPC で全員参加の腕試し！ －事例から学ぶ生化学検査データの考え方－	11 月 28 日（水）	専門 20	60 名

6.	(生理)	第8回生理検査研究班研修会 「総合判定に必要な乳腺超音波と マンモグラフィの知識 ～基礎と疾患の比較～」	11月29日(木)	専門 20	72 名
7.	(生理)	第9回生理検査研究班研修会 「SAS と睡眠検査」	11月30日(金)	専門 20	48 名

●支部学術研修会 開催なし

■自己申告 会場研修

●11月分

	(行事名)	(開催日)	(点数)	(登録者数)
1.	微生物学英語勉強会	11月13日(火)	基礎 10	3 名

2) 学会運営部

(1) 第14回東京都医学検査学会について

①参加者 439名 (会員 373名、学生会員 7名、学生非会員 1名、賛助会員 56名、不明 2名)

②各部署報告・意見

[総合受付]

参加者からの意見

- ・総合受付入口からランチョンセミナーチケットの配布場所がわかりづらかった。
- ・6階に行く方法がわからず、案内が欲しかった。

受付担当

- ・正会員であったが、大学院生なので学生会員料金を支払った方がいた。大学院生は学生会員ではないので、参加料金は会員料金となる。
- ・学生が学校から「学生の参加費は500円」と言われたということだったが非会員だったので1000円支払って頂いた。
- ・他県の大学教授の方がいらしたが、日臨技や地臨技に入っておらず、他のメディカルスタッフでもなかったため非会員の参加費となった。
- ・施設連絡者会議に出席の方で、学会参加費を支払わず参加している方がいたようだった。施設連絡者会議に参加の方で半分位の方は学会参加が無く、会議のみ参加されている方が多かった。

[PCセンター]

- ・スライドのアスペクト比が(4:3)ではなく、(16:9)のデータが8演題程度あった。機器試薬セミナーのスライド作成要項の会場ごとのアスペクト比に誤記載があった(第4会場)。会場ごとでPCのアスペクト比が異なるため、指定と乖離しているものは各会場でEJCスタッフが対応することになっていたが、第1、第2会場では対応できず、PCセンターで演者が対応した。
- ・演題24のデータが第4会場PCに登録されていなかった。
- ・EJCのPCオペレータの業務分担が不明確であった。

[第1会場]

- ・一般演題参加者数 一般 60名、臨床化学 43名、免疫血清 46名、微生物 50名、ランチョンセミナー(富士レビオ) ほぼ満席
- ・会場のセッティングが、上手が演者、下手が座長になっていた(時間の都合で変更不可)。
- ・機器展示スペースとの区分けがパーテーションのため、声や音が双方に漏れていた。
- ・ハンズオンセミナーの午後枠が特別講演や学会長企画講演と重なったため選択できなかったとの意見があった。

[第3会場]

- ・入口に会場を示す案内がなかった。
- ・機器試薬セミナーの主催企業から、講師控室を6階ではなく、会場横の控室を使用したいとの要望があった。
- ・演台上のPCをバックアップ用のPCに接続してしまい、バッテリー切れが発生した。

[検体採取ハンズオンセミナー]

- ・参加人数 計42名。
- ・講師8名。
- ・共催 株式会社京都科学。
- ・シミュレーター 鼻腔咽頭モデル 3台(日臨技)、足爪モデルセット 3台(日臨技) 3台(京都科学)計6台。
- ・事前申込人数、午後は少なかった。学会の他のプログラムと競合したためと考える。
- ・講義の後に2グループに分かれ、日臨技からの動画を見た後にシミュレーターを使用して実技を行った。
- ・講師の指導も丁寧であり、有意義なハンズオンセミナーであった。

(2) 日臨技関甲信支部・首都圏支部医学検査学会について

- ・1日目12時開始とする。
- ・ランチョンセミナー・各種セミナーは各部屋100名とする。
1日目スイーツセミナー3会場、イブニングセミナー3会場、2日目ランチョンセミナーは5会場を予定とする。
- ・抄録はweb抄録にできるか検討中である。web抄録にした場合、当日、プログラムのみの小冊子を配布することを検討中。
- ・学会のロゴ、名刺のデザイン案を米山理事が作成した。

3) 支部運営

(1) 支部業務連絡委員会

①各支部の区民・市民まつりの報告

②2019年度初級研修会について(案)

- ・開催期間は5月から8月上旬とする。
- ・公衆衛生検査研究班と臨床検査情報システム研究班を除いた8研究班で行う。
- ・各支部開催研究班：血液、一般、生理、臨床化学
西支部と東南北3支部合同開催研究班：微生物、輸血、病理細胞診、免疫血清
- ・西支部の要望として、2研究班の研修会を土曜日開催とする希望がある。
- ・日程に関しては、できるだけ各研究班の要望に応える。
- ・3支部合同開催の会場として御茶ノ水、秋葉原、水道橋付近の意見がでている。
11月26日の学術部会会議で支部の意見を提案したところ、各研究班の了承が得られた。

③施設連絡者会議について

- ・第14回東京都医学検査学会内で開催し、98名の参加があった。

④各支部より

・南支部より

12月16日(日)都民公開講演を開催した。チラシは第14回東京都医学検査学会や南支部中心の施設に置き、6000部は新聞折り込みを行った。参加者は会員21名、非会員13名、計34名であった。会場が3階の奥の視聴覚室であったので、呼び込みがしづらかった。

- ・西支部より、理事1名の補充希望あり。

(2) 教育施設連絡者会議

- ・会議開催なし。

4) 地域保健共催事業部

(1) 地域保健共催部会

- ・会議開催なし。
- ・学生対象講演会「臨地実習に向けて」、2019年1月26日（土）に開催予定である。
講師の選出が終了し、委嘱状を発送した。対象となる学校施設へポスターと案内を発送し、今年中に参加人数の報告を頂く予定である。
- ・来年度の計画を1月の会議で検討する。

(2) フォーラム委員会

- ・2019年2月16日（土）開催の都臨技フォーラムにおける広報活動を進めている。

(3) STI 予防委員会

- ・会議開催なし。
- ・12月1日（土）渋谷街頭活動を3名にて実施した。
- ・12月2日（日）第14回東京都医学検査学会にて、平成29年度のアンケート集計結果の発表を行った。
- ・2019年2月23日（土）開催、都民公開講座の公開講座の広報活動を進めている。
- ・2019年3月2日（土）青砥中学校、STI 予防教室予定。

5) 会計部

(1) 会費収入状況【平成30年11月30日】

	H30 年度実績	前年度実績
正会員会費納入者数	6,131 名	5,821 名
学生会員会費納入者数	44 名	146 名
賛助会員会費納入社数	69 社	71 社

(2) おもな11月の事業活動収支について

◎収入

- ・会費収入 正会員会費 126,000 円 18 名
- 学生会員 4,500 円 9 名
- 賛助会員 30,000 円 1 施設（バイオメリュー・ジャパン株式会社）
- ・事業収入 精度管理参加費 200,000 円 20 施設（2 施設ダブリ入金で返金）

◎支出

- ・倫理高揚資質費合計 1,091,840 円（内訳はデータ標準化費用が主）
- ・機関誌発行 印刷製本費 1,492,560 円 会誌9月号

(3) 第14回東京都医学検査学会

参加費報告

- ・一般会員 374 名
 - ・非会員 1 名
 - ・学生会員 6 名
 - ・学生非会員 1 名
 - ・賛助会員 54 名
 - ・賛助非会員 2 名
 - ・抄録集販売 1 冊
 - ・懇親会
- | | |
|---------|-----------------------|
| 計 438 名 | 2,176,000 円 (学生入会金含む) |
| 計 1 冊 | 1,000 円 |
| 計 76 名 | 304,000 円 |

(4) 平成 30 年度 全国「検査と健康展」

予算 1,500,000 円のところ、実際の会計は 1,241,641 円であった。都臨技からは 500,000 円の負担予定であったが、約半分程度の負担となった。

(5) 多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会の決算書報告が提出された。

(6) 第 3 四半期の締めを 12 月末に行うので、各理事は行動交通費請求書を提出すること。

(7) 来年度予算について、学部と支部から 12 月末を締め切りとして提出していただき 1 月の執行理事会に素案を提出する予定である。

6) 庶務部

会員数【平成 30 年 11 月 30 日現在】

正会員数（都臨技会費免除会員）	6,228 名（53 名）
賛助会員	73 社
学生会員（平成 30 年度のみ）	44 名
名誉会員	13 名

(1) 庶務部報告

- ・ 12 月 3 日より、今回採用中の 1 名（臨床検査技師）が勤務を開始した。
- ・ 12 月 6 日、事務員 4 名（山木さん、右田さん、滝口さん、原田さん）と米山事務局長、宮崎庶務部長が面談を行った。
面談内容：事務所環境や業務の引き継ぎ、勤務日数、2019 年からの勤務体制等。
- ・ 法人登記が 12 月 3 日までに完了したので、都庁への変更届け提出準備を開始した。
- ・ 6 月 29 日に提出した事業報告および決算書類等に関し、審査が終了した。
- ・ 新春のつどい・各賞受賞祝賀会の招待状および案内を 12 月 14 日に発送した。
- ・ 賛助会員へ 2019 年度入会案内及び会費納入書類を発送した。
次年度より賛助会員社名をホームページに掲載し、賛助会員より希望があれば社名にリンクをはる予定であるため、
発送書類にリンク先の調査も記載した。社名掲載は会費納入が確認でき次第順次掲載することとする。
- ・ 第 2 回 事業に関する懇話会議事録
- ・ 新春のつどいのレイアウトについて、ご意見は相馬理事まで上げること。

(2) 選挙管理委員会

- ・ 会議開催なし。 規程の見直しを行っている。

(3) 役員選出委員会

- ・ 役員候補者選出規程と役員選出委員会規程の改訂について、今期中の改訂に向けて規程内容の検討を継続する。
来月の理事会に提出予定である。
- ・ 役員数等の提案事項の検討を継続する。

(4) ホームページ管理担当者会議

- ・ ホームページ管理会社 パレットプランニングの見積書。
同じ九州地区の他社の見積書をとったが、変わりはない。
ホームページが見にくいという意見もあるので、交渉していく。

7) 事務局

(1) 事務局報告

- ・ 11 月の事務業務内容の報告がなされた。
- ・ 日臨技より検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の受講促進について

- ・「日臨技臨床検査データ標準化事業」体制見直しについてのお知らせ
- ・第31回日本消化器画像診断情報研究会東京大会の後援依頼がきている。
会誌へのチラシ同梱かHPへの掲載かHPへのリンクのいずれかとして頂き、会の詳細について送付頂くこととする。
- ・都臨技事務所の電話について、電話機を1台購入し、回線を年内中にNTTの光電話へ変更する。

(2) 表彰選考委員会

①永年会員及び永年幹事表彰について

12月2日(日)第14回東京都医学検査学会において永年会員及び永年幹事の表彰式を執り行った。
永年会員5名(対象37名)、永年幹事22名(対象27名)に表彰状と記念品を贈呈した。
欠席された表彰者の表彰状と記念品は、自宅へ12月20日に発送する。

②名誉会員表彰について

名誉会員表彰対象者への受賞の案内状を11月6日に送付した。表彰は平成30年度「新春のつどい」で行う。

③小島三郎記念技術賞、福見秀雄賞推薦について

2019年度第54回小島三郎記念技術賞、第38回福見秀雄賞の候補者の推薦状を準備している。

④日臨技学術奨励賞推薦予定について

現在優秀論文推薦候補に3編が挙がっている。編数に拘らず優秀な論文の推薦を検討することとした。

⑤2019年秋の叙勲及び褒章候補者について

2019年秋の叙勲及び褒章候補者の推薦依頼が12月9日に届いたが、提出期限は2018年12月28日(金)と短く、
条件が厳しく、候補者の選出は難しい。該当なしとして報告する。候補者の選出は継続して今後も検討していく。

⑥都臨技会誌の医学検査に掲載された優秀な論文に対し、都臨技「優秀論文賞」としての表彰について理事会で検討する。

8) その他

(1) 初級・職能開発講習会について

11月23日(金)に開催した。47名の参加があり、予算内で開催できた。

(2) ニューリーダー育成研修会について

1月27日に都臨技事務所で開催する。12月3日より募集開始(20名)、現在の申込みは4名あり。
日臨技からの講師は、宮島会長(ビデオ出演)、相山副会長の予定である。

(3) 小山副会長より

12月14日(金)、15日(土)に災害派遣技師研修会に参加した。全国から54名の参加があった。
今後、都臨技でも災害対策に対する部局を作る検討していくこととする。

(3) 杉岡会長より

2月2日(土)に1都8県 人材育成研修会が千葉で開催される。

9) 会長報告

(1) 診療報酬改定に対する臨床検査のコスト調査が日臨技よりきている。提出期限は1月11日。

(2) 臨床検査技師における厚生労働大臣が指定する検体採取研修会の受講対象者について

平成31年3月卒業の3年制の卒業生(平成28年度入学者)は非対象(4年制卒業生は対象)。
平成27年以前に入学した方は対象。

現在のところ検体採取講習会の開催予定は平成31年度まで、それ以降はまだ発表になっていない。

3. 審議事項

(1) 11月20日から12月18日までの新入会者11名について承認された。

(2) 日本消化器画像診断情報研究会東京大会の後援について承認された。

平成 30 年 12 月 19 日 (水)

公益社団法人 東京都臨床検査技師会

議事録作成 三木 優利子

議 長

(原田)

原田 典明 


監 事

(立花)

立花 勇一 

監 事

(安部)

安部 信行 

監 事

(遠藤)

遠藤 盛人 